

早稲田大学 国際教養学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	120分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	確率，期待値	誰が退出するか，どのようなカードの結果に因るかを正確に場合分けにつなげること．	標準
問2	(1)物理量 (2)図形と方程式，積分	(1) t 時間後の位置をベクトル表示する． (2)点(1,0)における2曲線の関係を調べること．第2象限における積分を工夫すること．	標準
問3	図形の計量	数学 の図形の計量の問題に中学レベルの幾何の問題が加味された問題．BIの長さはベクトルによる表示ならば定番の設問．	標準

〔総合コメント〕

<p>問2 - (2)図形と方程式，積分による面積，問3 - 図形の計量は例年の傾向そのままである． 問1の確率も「じゃんけんと勝ち残り」と同じ構成といえる標準的な問題である． 問2 - (1)が物理量の問題なので立式に戸惑わなければ，75%は確保可能な難易度である．</p>
--